

令和8年度さけます報告会

2025年漁期におけるサケ資源状況

—さけます関係研究開発推進会議における議論—

佐藤 俊平

(国研) 水産研究・教育機構 水産資源研究所

さけますセンター 資源生態部

令和8年8月5日 ホテルライフオート札幌

本日の内容

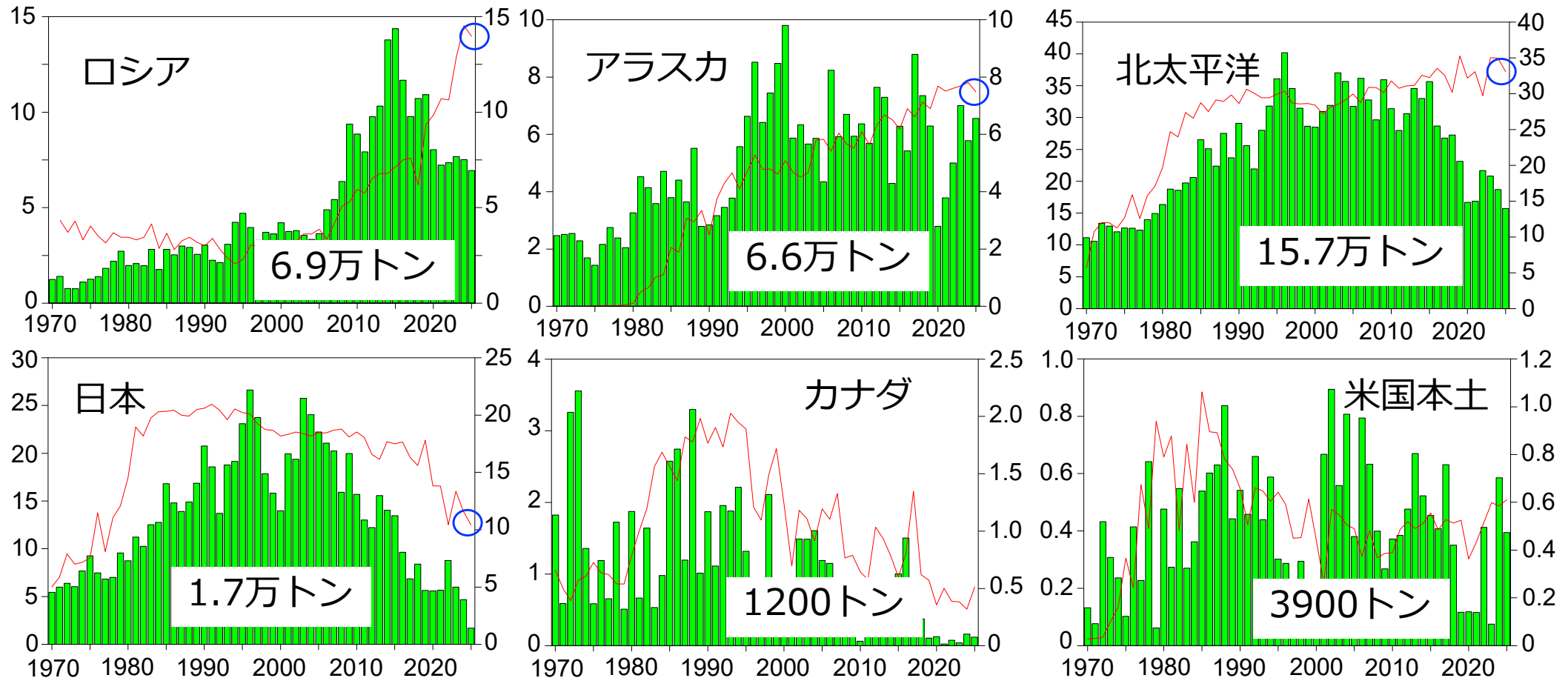
1. 2025年漁期のサケ資源状況
2. 2025年漁期のサケ資源減少要因

本日の内容

1. 2025年漁期のサケ資源状況
2. 2025年漁期のサケ資源減少要因

主要な国・地域別のサケ商業漁獲量と放流数の推移

左軸（棒グラフ）：商業漁獲量（万トン）、右軸（折れ線）：放流数（億尾）



(NPAFC Catch Statistics)

<漁獲量>

- 北太平洋全体：1990年代-2010年代が多く、近年は減少傾向
- 日本：1990年代は世界の60-70%、2005年以降は減少
- ロシア：2005年以降増加したが、近年は減少傾向
- アラスカ：2020年頃に減少したが、その後回復

<放流数>

- ロシア・アラスカが増加傾向、日本は減少傾向

2025年のサケ来遊状況

道県、地区 (海区)	河川捕獲数			沿岸漁獲数			総来遊数		
	2025年度	2024年度	前年比	2025年度	2024年度	前年比	2025年度	2024年度	前年比
北海道	1,243,113	2,023,323	61	5,615,289	15,628,577	36	6,858,402	17,651,900	39
太平洋	433,426	419,296	103	1,446,253	4,096,587	35	1,879,679	4,515,883	42
日本海	809,687	1,604,027	51	4,169,036	11,531,990	36	4,978,723	13,136,017	38
(オホーツク)	603,213	1,312,985	46	3,619,501	10,632,389	34	4,222,714	11,945,374	35
(日本海)	206,474	291,042	71	549,535	899,601	61	756,009	1,190,643	64
(根室)	78,738	194,301	41	559,507	2,888,106	19	638,245	3,082,407	21
(襟裳以東)	134,173	90,214	149	507,708	1,000,824	51	641,881	1,091,038	59
(襟裳以西)	220,515	134,781	164	379,038	207,657	183	599,553	342,438	175
本州	44,090	115,390	38	27,732	91,963	30	71,822	207,353	35
太平洋	13,678	31,311	44	17,061	52,293	33	30,739	83,604	37
日本海	30,412	84,079	36	10,671	39,670	27	41,083	123,749	33
合計	1,287,203	2,138,713	60	5,643,021	15,720,540	36	6,930,224	17,859,253	39
太平洋	447,104	450,607	99	1,463,314	4,148,880	35	1,910,418	4,599,487	42
日本海	840,099	1,688,106	50	4,179,707	11,571,660	36	5,019,806	13,259,766	38

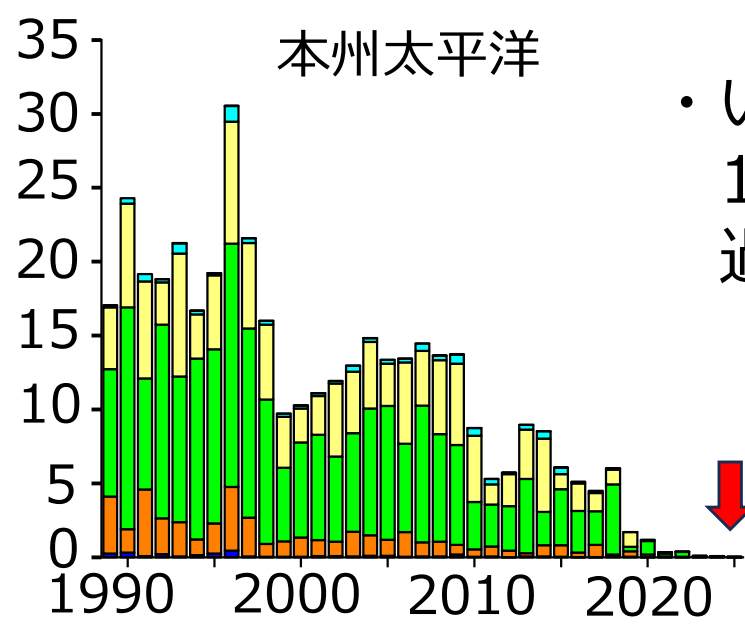
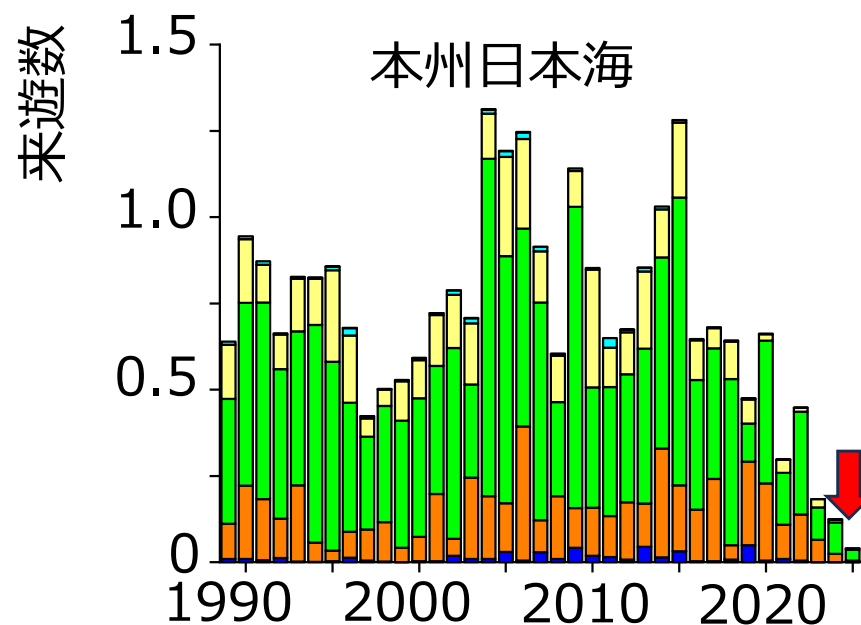
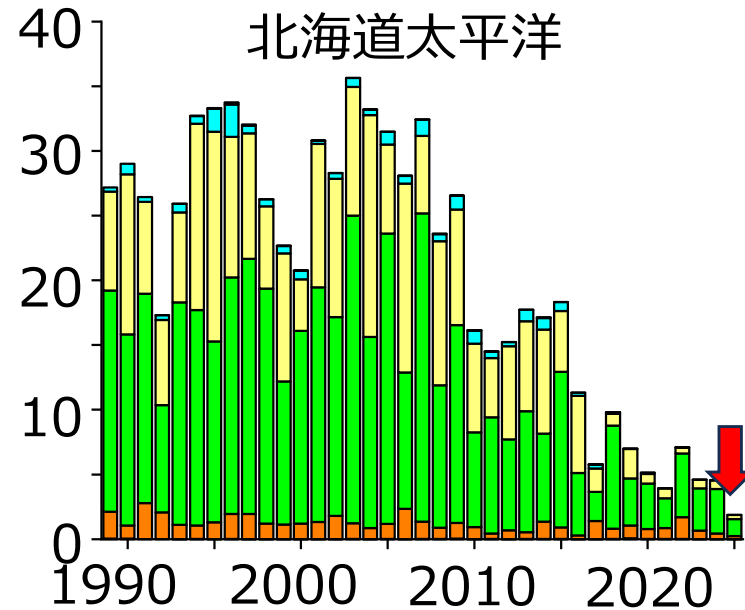
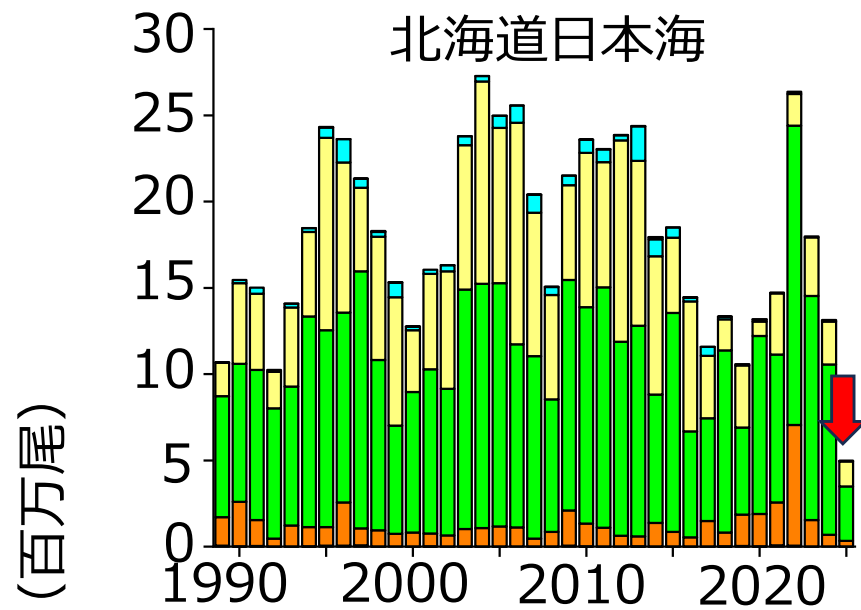
- ・ 全国：総来遊数693万尾（前年比39%）の大不漁
- ・ 4地区ともに前年の3～4割程度まで大きく減少

年別地域別のサケ年齢別来遊数

2年魚 3年魚 4年魚 5年魚 6年魚 7年魚 8年魚



水研機構資源研
さけますセンターまとめ



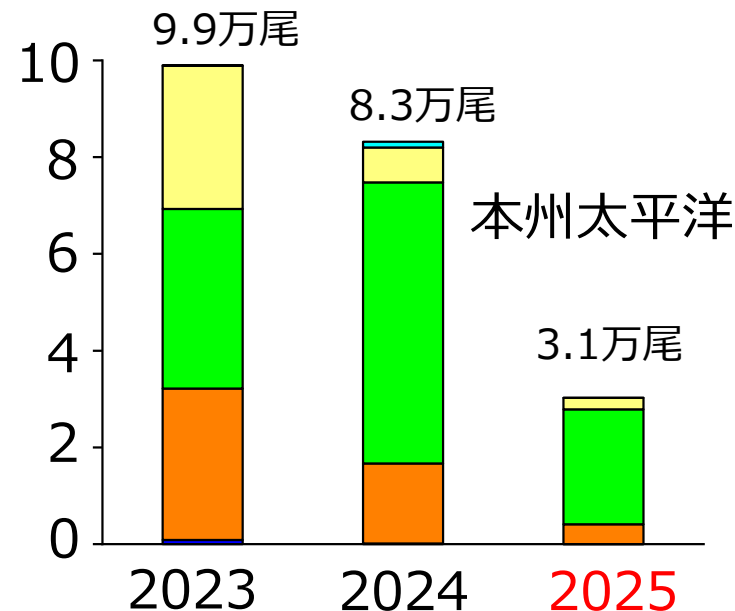
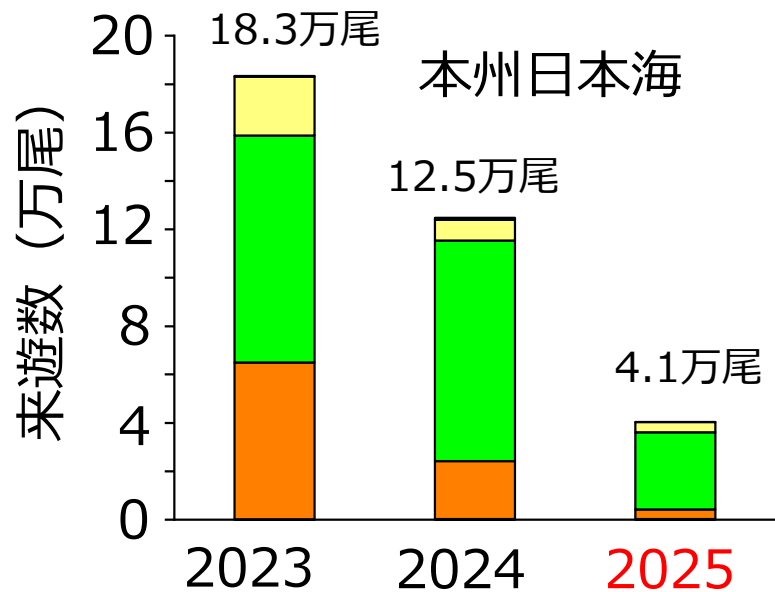
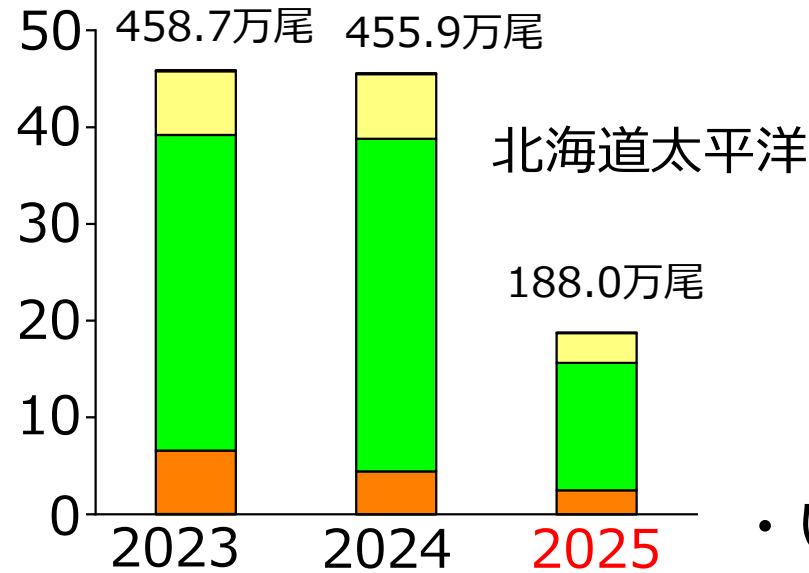
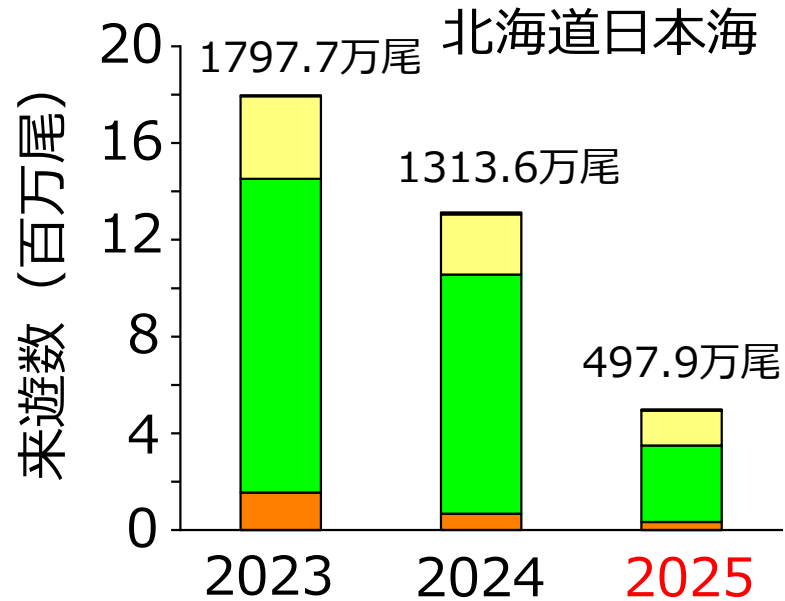
・ いずれの地域も
1989年以降で
過去最低

年別地域別のサケ年齢別来遊数

2年魚
 3年魚
 4年魚
 5年魚
 6年魚
 7年魚
 8年魚



水研機構資源研
さけますセンターまとめ



- いずれの地域も1989年以降で過去最低
- 2025年は直近2年と比較し大きく減少

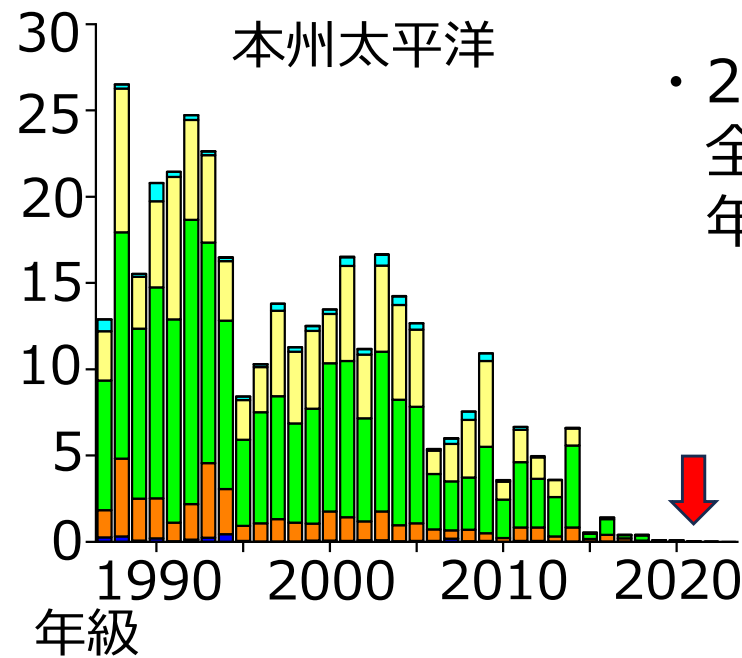
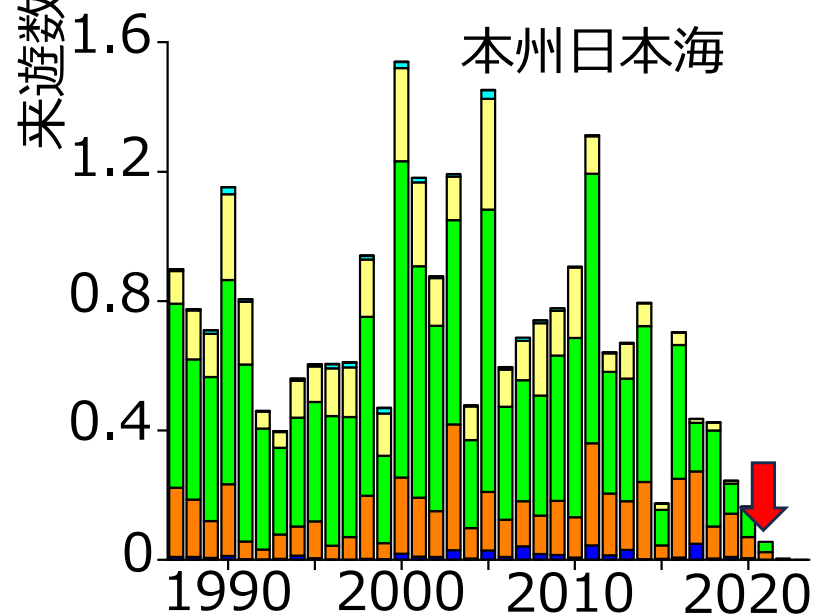
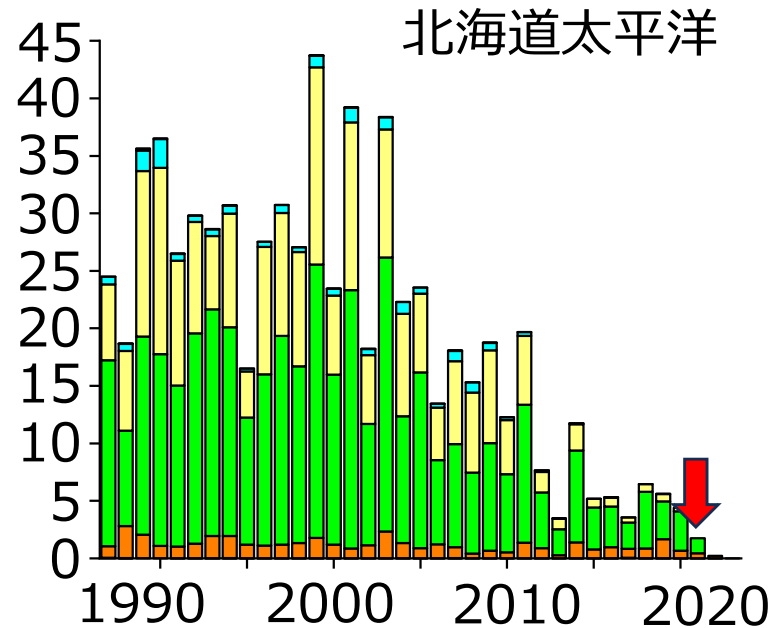
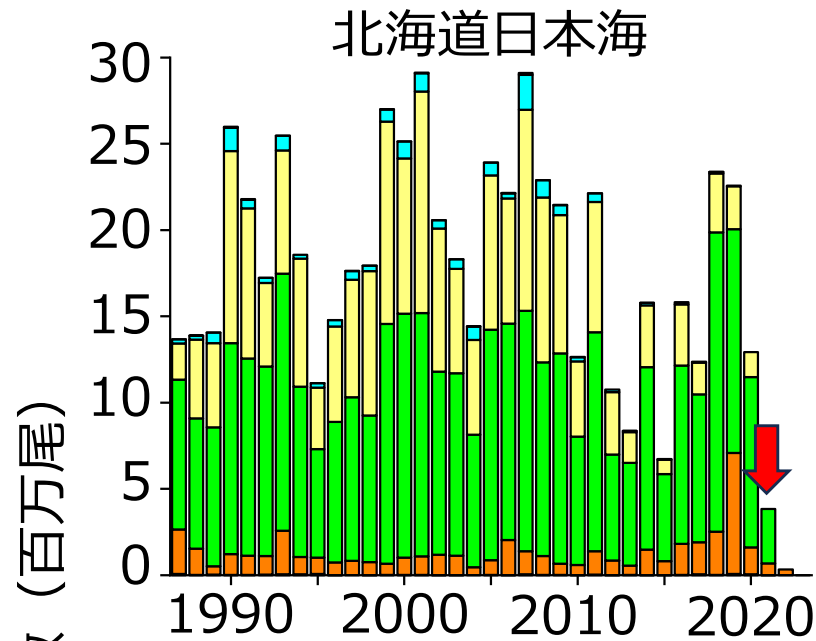
年

年級別地域別のサケ年齢別来遊数

2年魚
 3年魚
 4年魚
 5年魚
 6年魚
 7年魚
 8年魚



水研機構資源研
さけますセンターまとめ



・ 2021年級の回帰が
全地域で悪く、1989
年級以降で過去最低

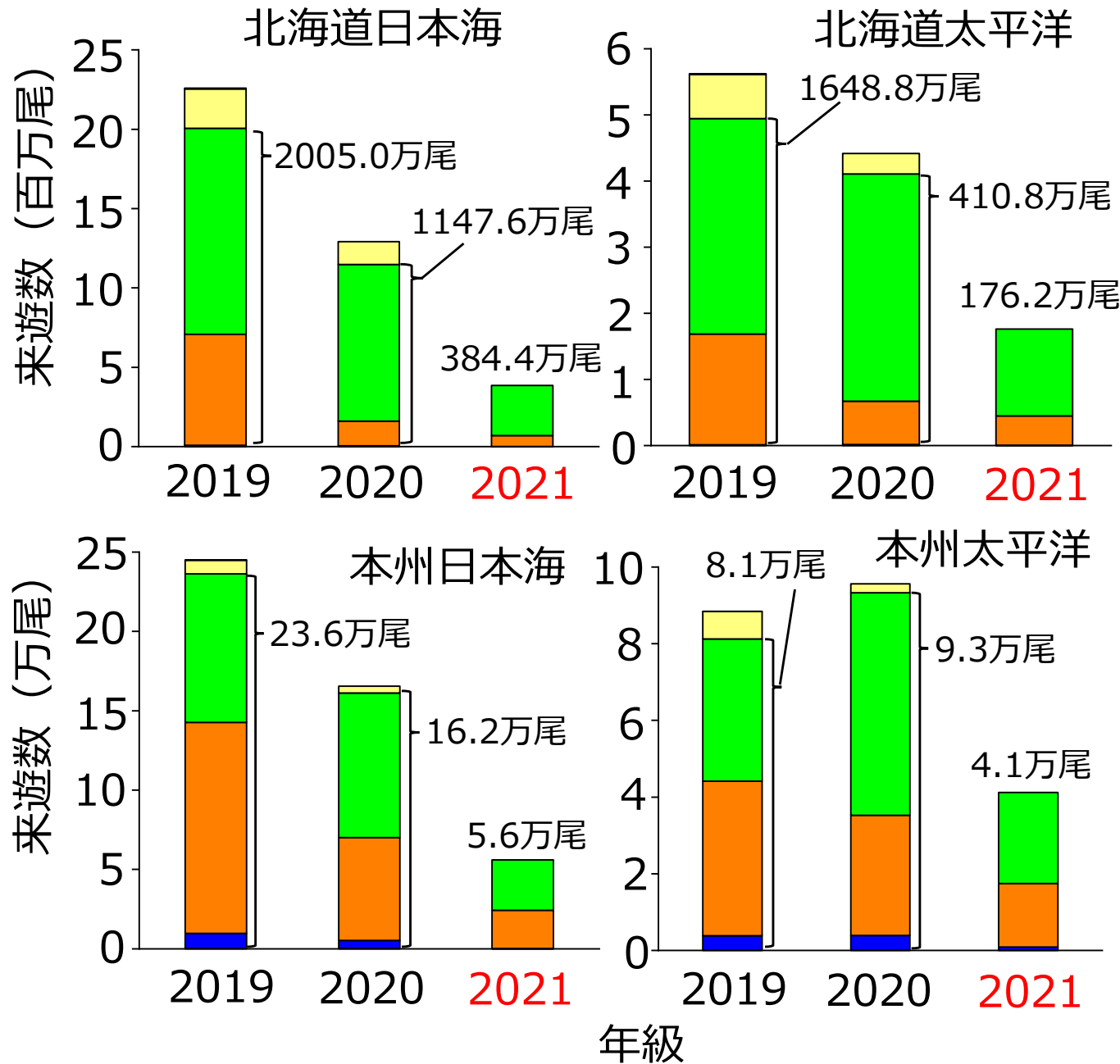
年級

年級別地域別のサケ年齢別来遊数



水研機構資源研
さけますセンターまとめ

2年魚 3年魚 4年魚 5年魚 6年魚



- ・ 2021年級の回帰が全地域で悪く、1989年級以降で過去最低
- ・ 2-4年魚の合計でも2021年級は少ない

回帰年級

*2019年級：6年魚まで

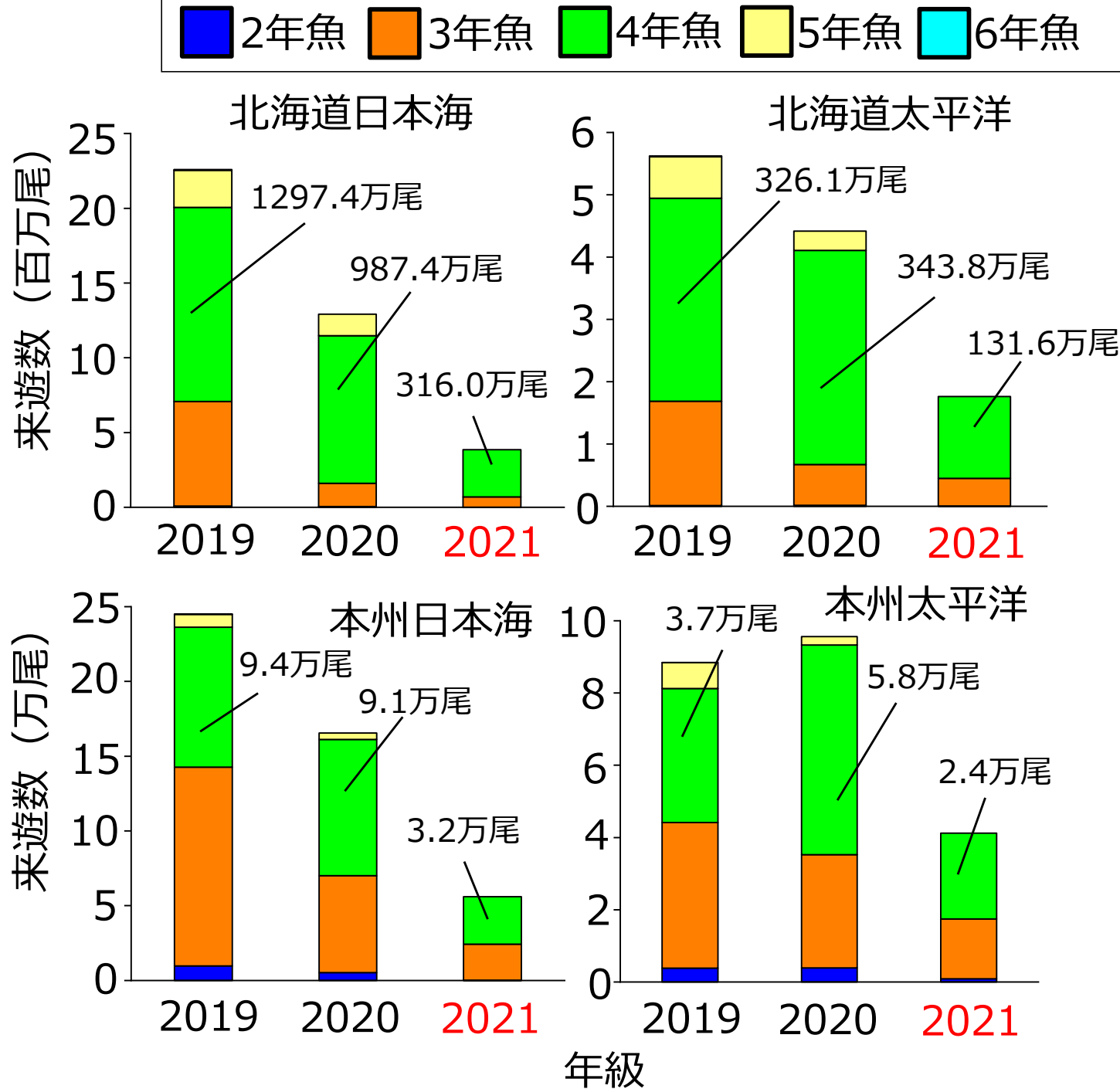
*2020年級：5年魚まで

*2021年級：4年魚まで

年級別地域別のサケ年齢別来遊数



水研機構資源研
さけますセンターまとめ



- ・ 2021年級の回帰が全地域で悪く、1989年級以降で過去最低
- ・ 2-4年魚の合計でも2021年級は少ない
- ・ 4年魚の回帰も悪い
- ・ 3年魚に比べ4年魚の回帰数が少ない

回帰年級

*2019年級：6年魚まで

*2020年級：5年魚まで

*2021年級：4年魚まで

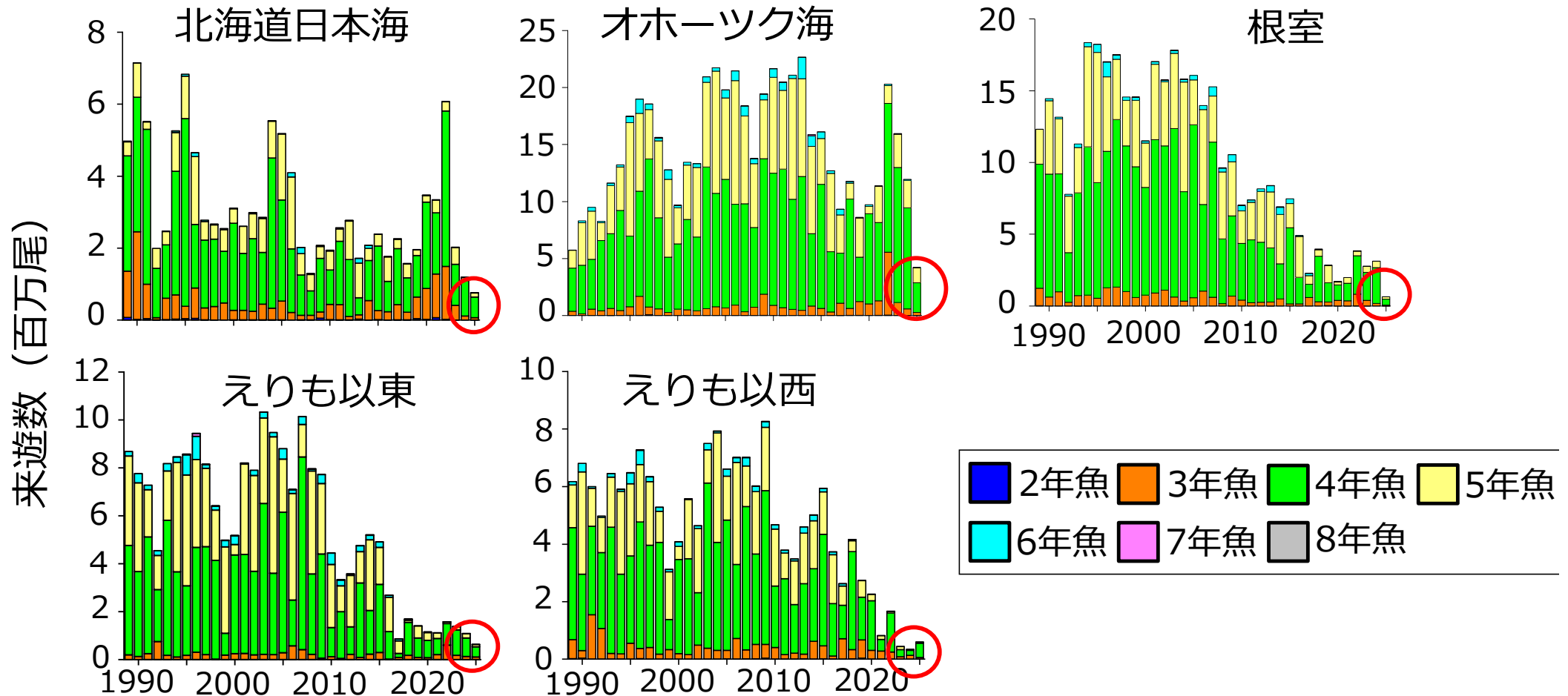
2025年漁期におけるサケ資源の傾向

- 来遊数が全ての地域で大きく減少
 - ・ 北海道：前年比39%、本州：前年比35%
 - ・ 総来遊数は1989年以降で最も少ない
 - ・ 直近2年と比較しても、大きく減少
- 主群となる2021年級（4年魚）の来遊
 - ・ 2021年級の来遊は全ての地域で少ない
 - ・ 2-4年魚合計、4年魚単独の来遊数は共に少ない
 - ・ 3年魚と比べ、4年魚の来遊が少ない

本日の内容

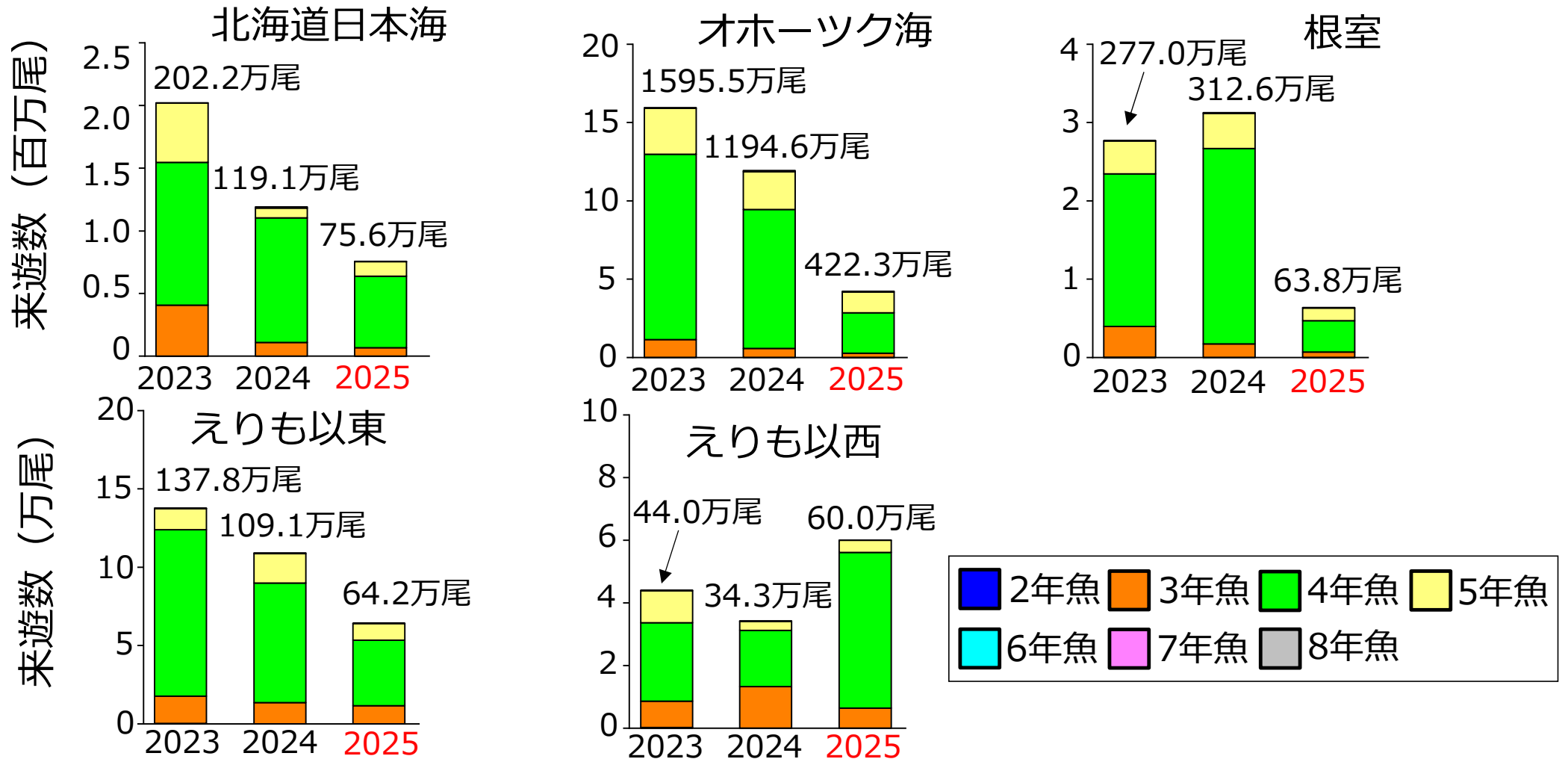
1. 2025年漁期のサケ資源状況
2. 2025年漁期のサケ資源減少要因

北海道5海区におけるサケ年齢別来遊数

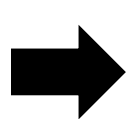


- ・ えりも以西以外の地域で前年よりも減少
- ・ 多獲地帯であるオホーツク・根室での落ち込みが顕著

北海道5海区におけるサケ年齢別来遊数

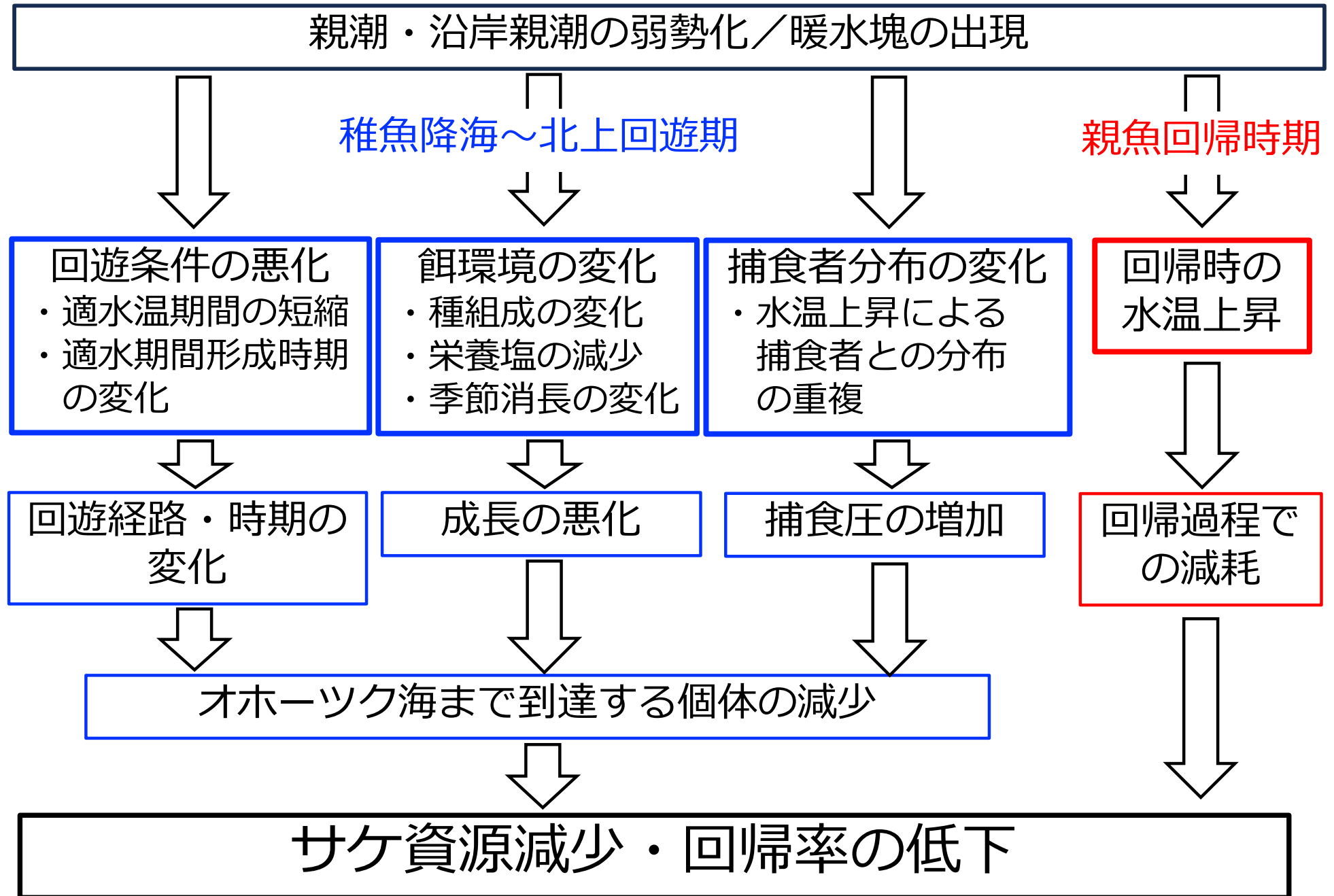


- ・ えりも以西以外の地域で前年よりも減少
- ・ 多獲地帯であるオホーツク・根室での落ち込みが顕著
- ・ 主群である2021年級（4年魚）は1989年以降で最も少ない



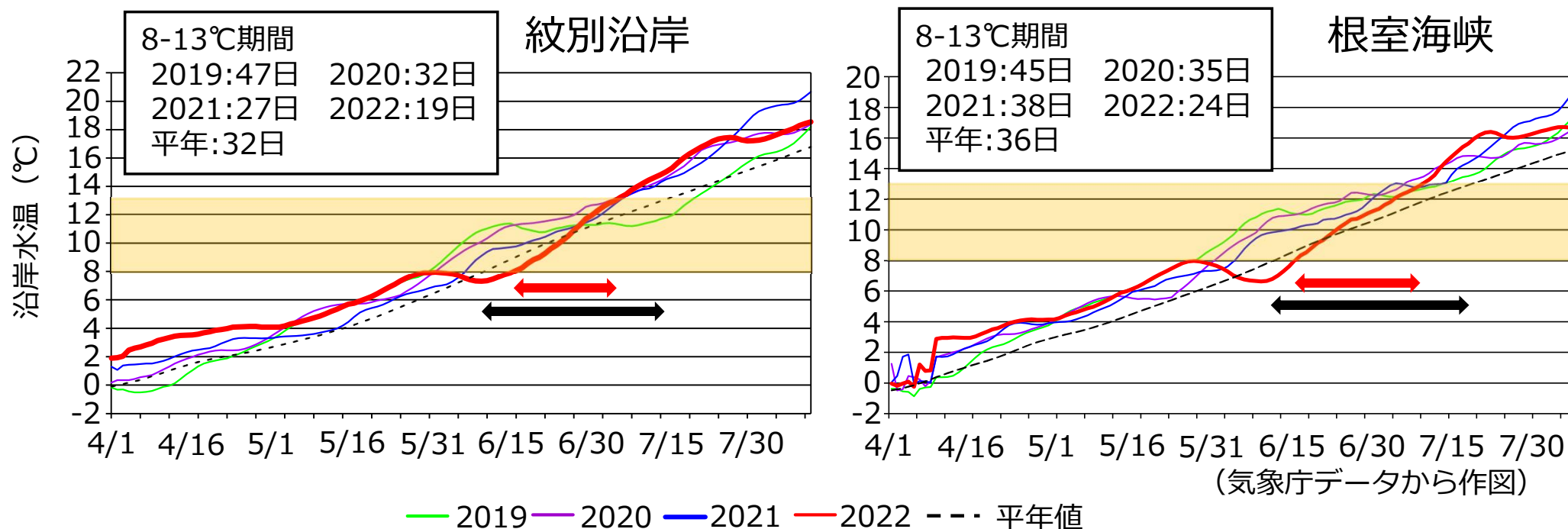
各海区における、サケ稚魚降海時の沿岸海洋環境は
どのような状況だったのか？

サケ資源変動に影響すると思われる要因



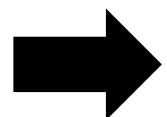
(水産庁第1回不漁問題に関する検討会資料を改変)

①オホーツク・根室海区：沿岸水温



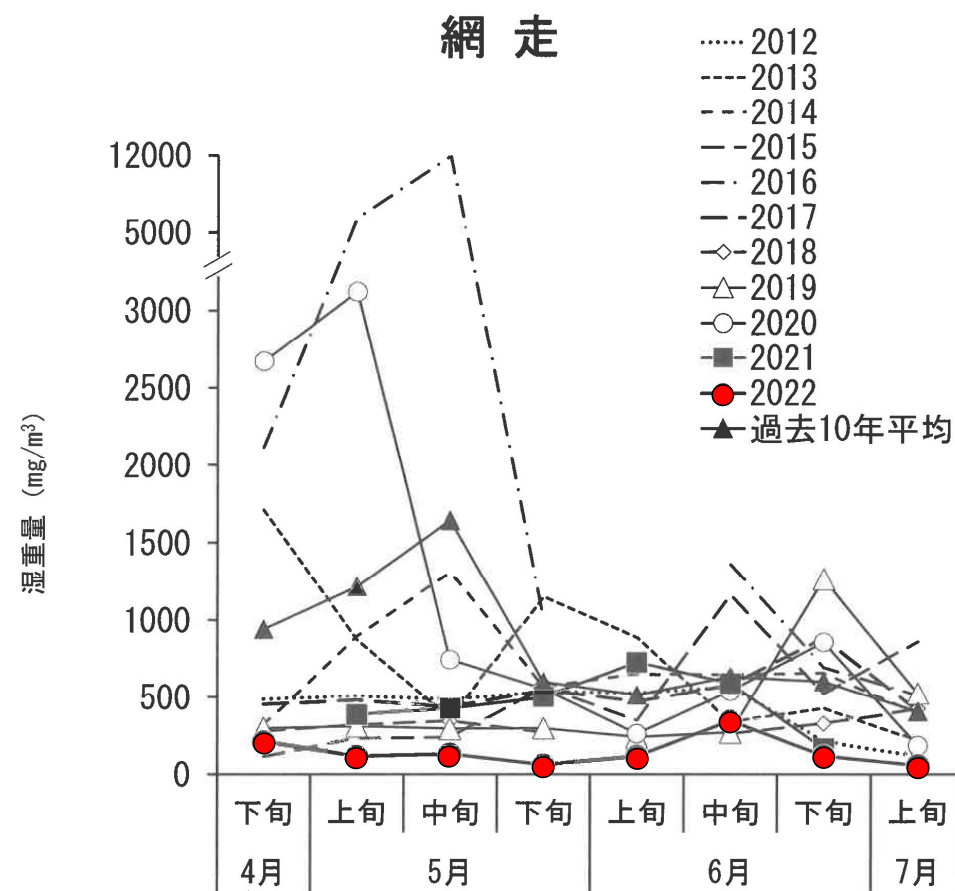
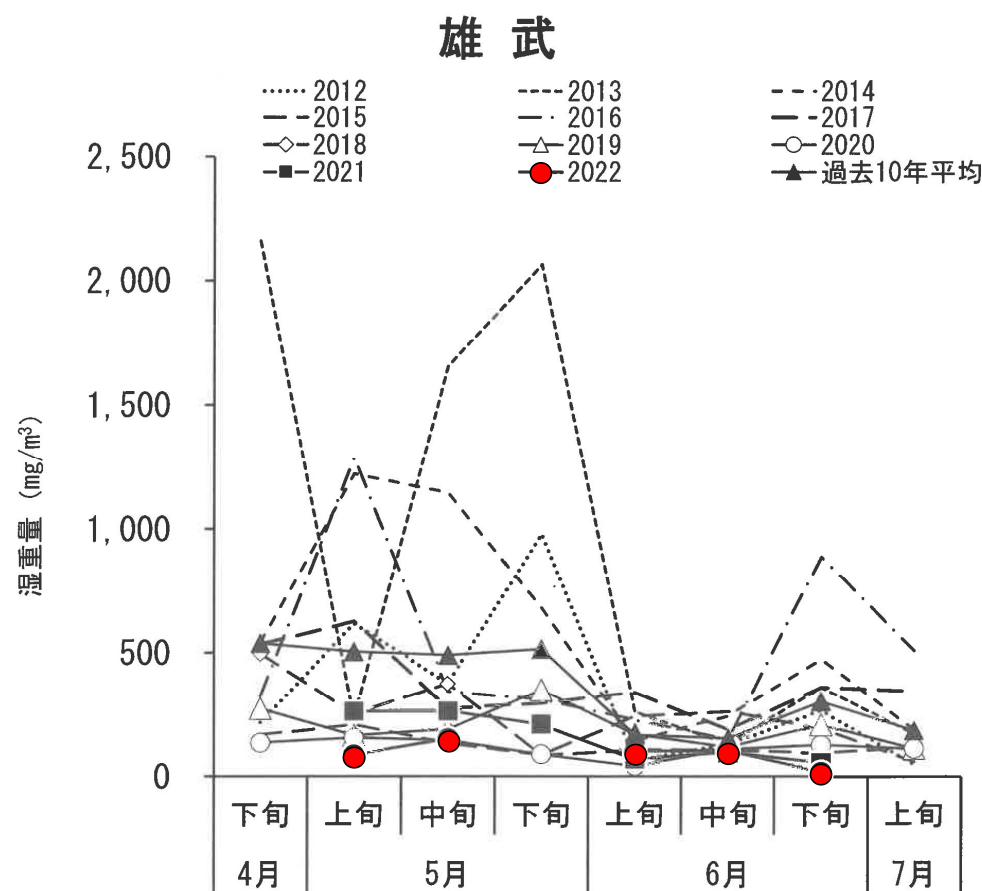
2022年4-7月のオホーツク海・根室沿岸における水温の推移

- 平年よりも8°C到達時期が遅く、13°C到達時期が早い
- 8~13°C期間が例年より短縮



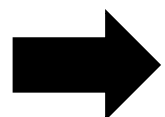
適水温の持続期間が短い

①オホーツク・根室海区：餌生物環境



(令和4年度道総研さけます・内水面水産試験場事業報告書の図を改変)

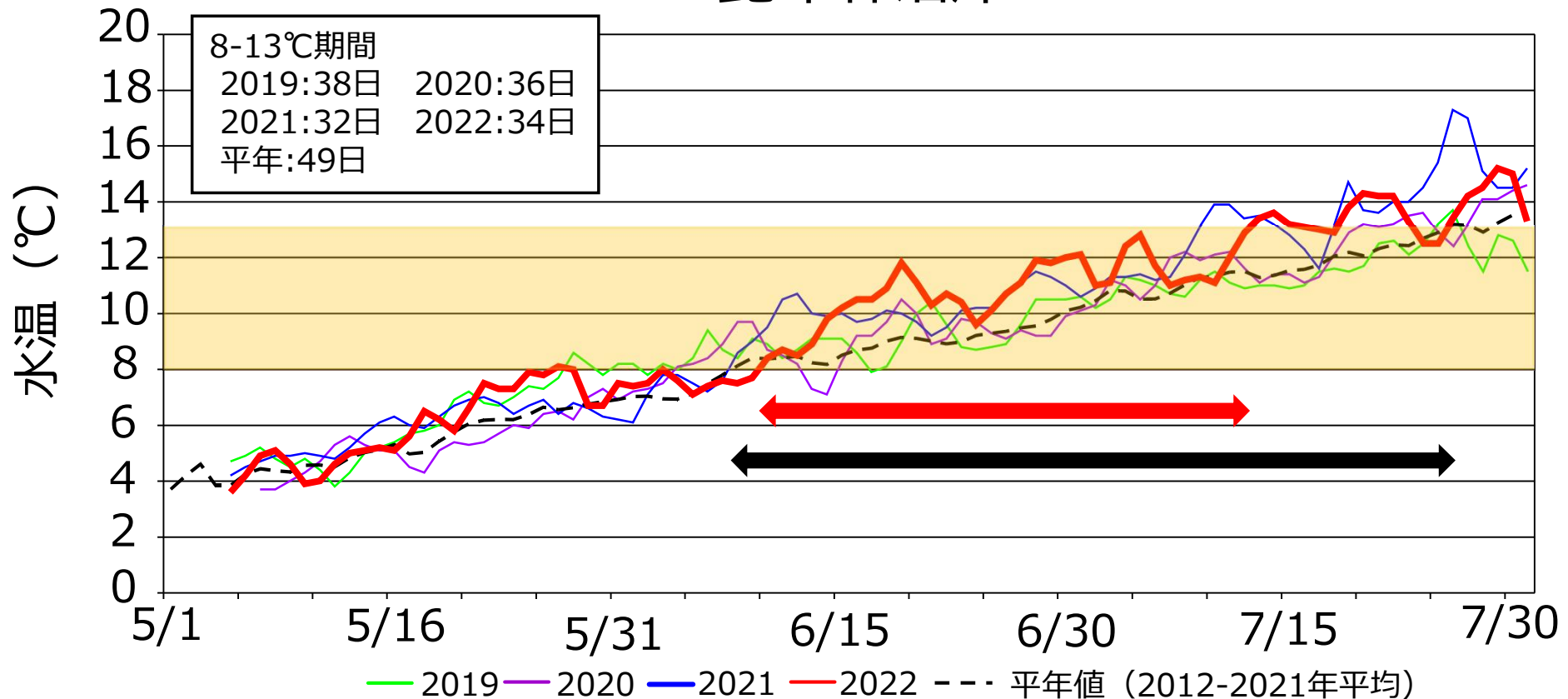
2022年春季の動物プランクトン湿重量は、過去と比較して少ない



サケ稚魚の餌環境は（量的には）悪い

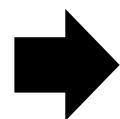
②えりも以東海区：沿岸水温

昆布森沿岸



2022年5-7月の昆布森沿岸における水温の推移

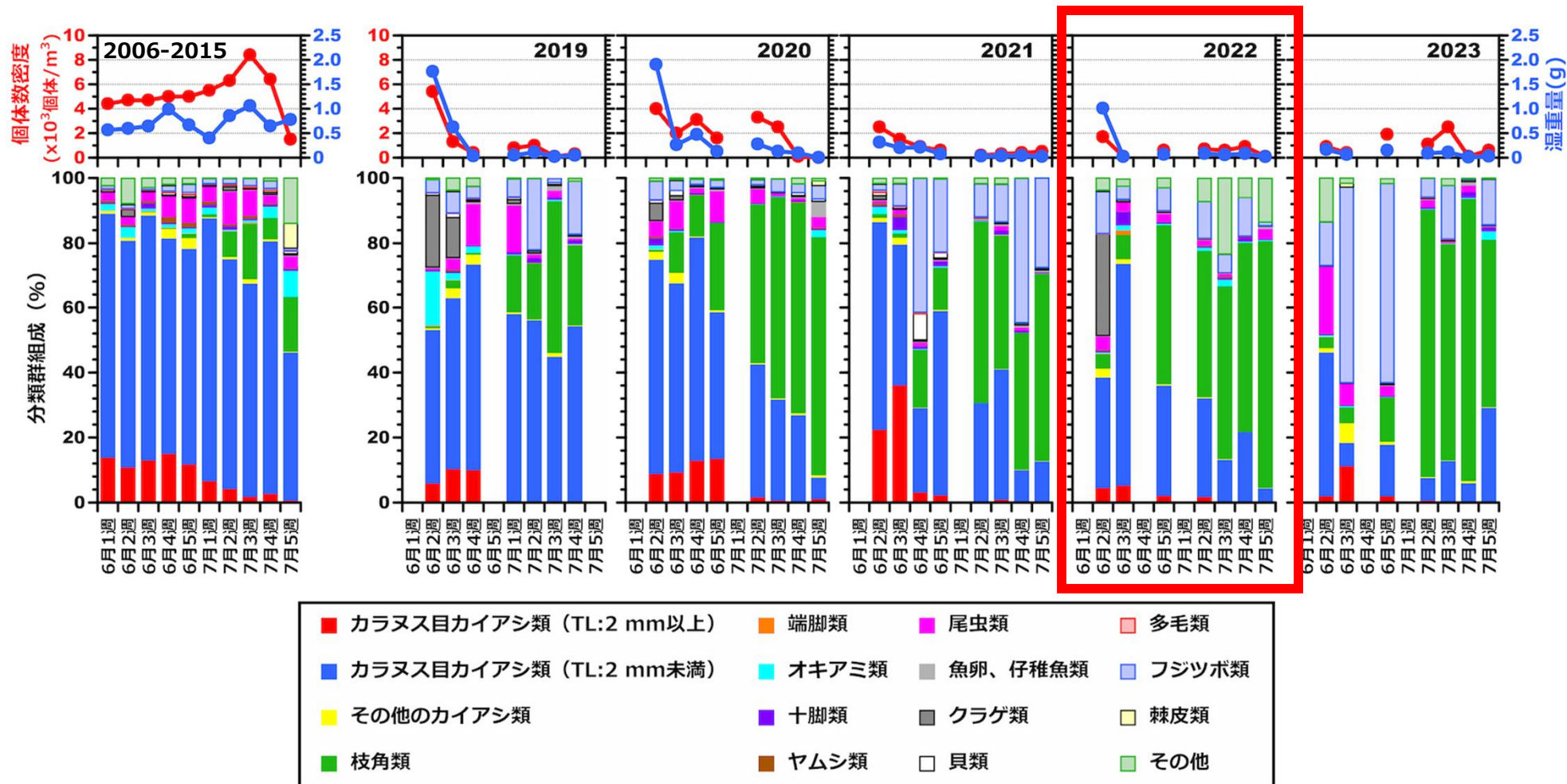
- 平年値と比較して水温は高めで推移
- 8～13°C期間は平年よりも短い



適水温の持続期間が短い

②えりも以東海区：餌生物環境

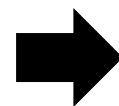
昆布森沿岸における動物プランクトン個体数密度と分類群組成



(令和5年度さけ・ますふ化放流抜本対策事業報告書)

2022年は

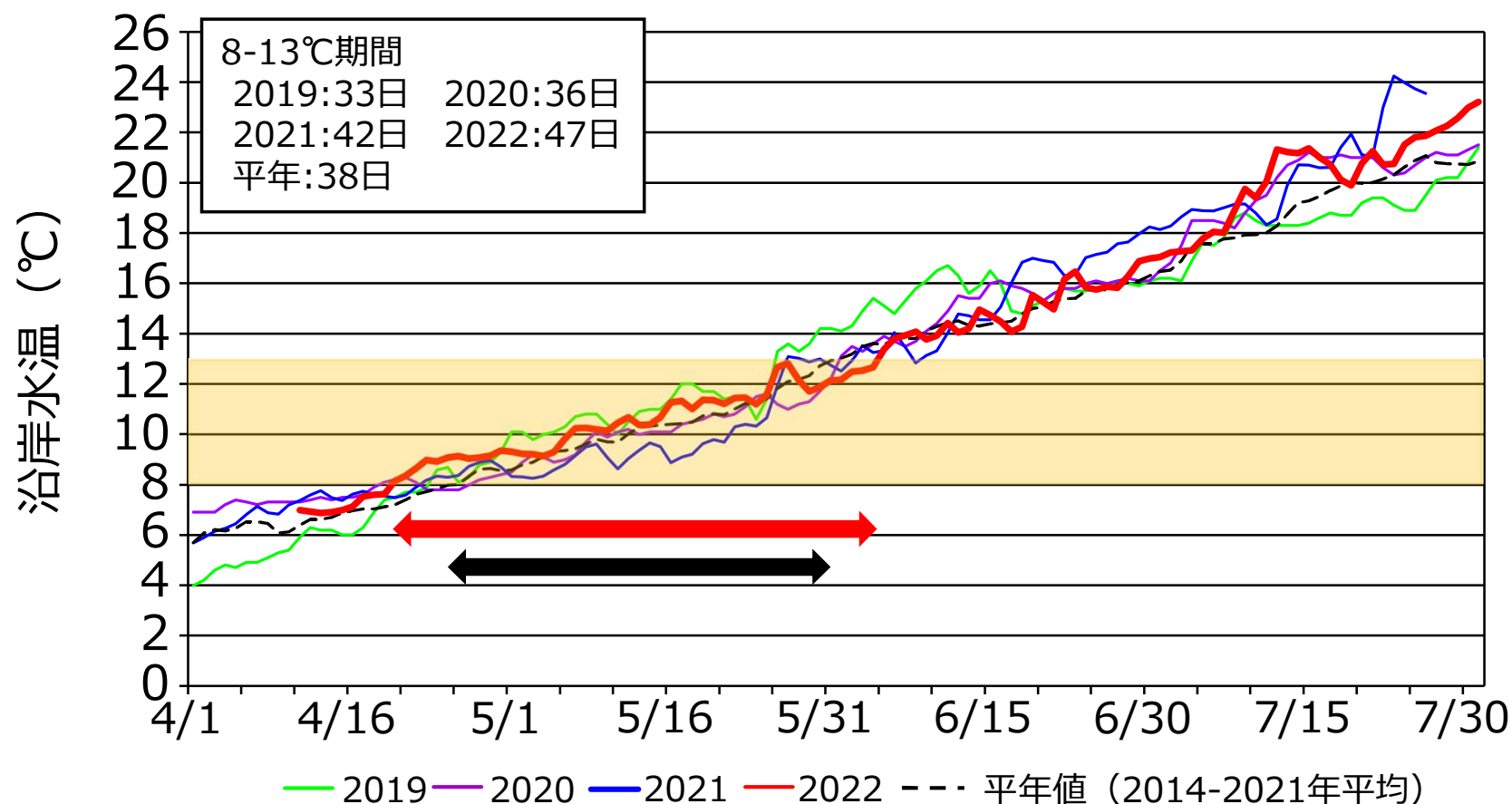
- ・ 個体数密度：過去平均よりも少ない
- ・ 分類群組成：過去と比較し枝角類が多い



サケ稚魚の餌環境としては悪い

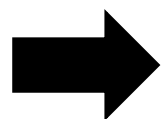
③北海道日本海区：沿岸水温

厚田沿岸



2022年4-7月の厚田沿岸における水温の推移

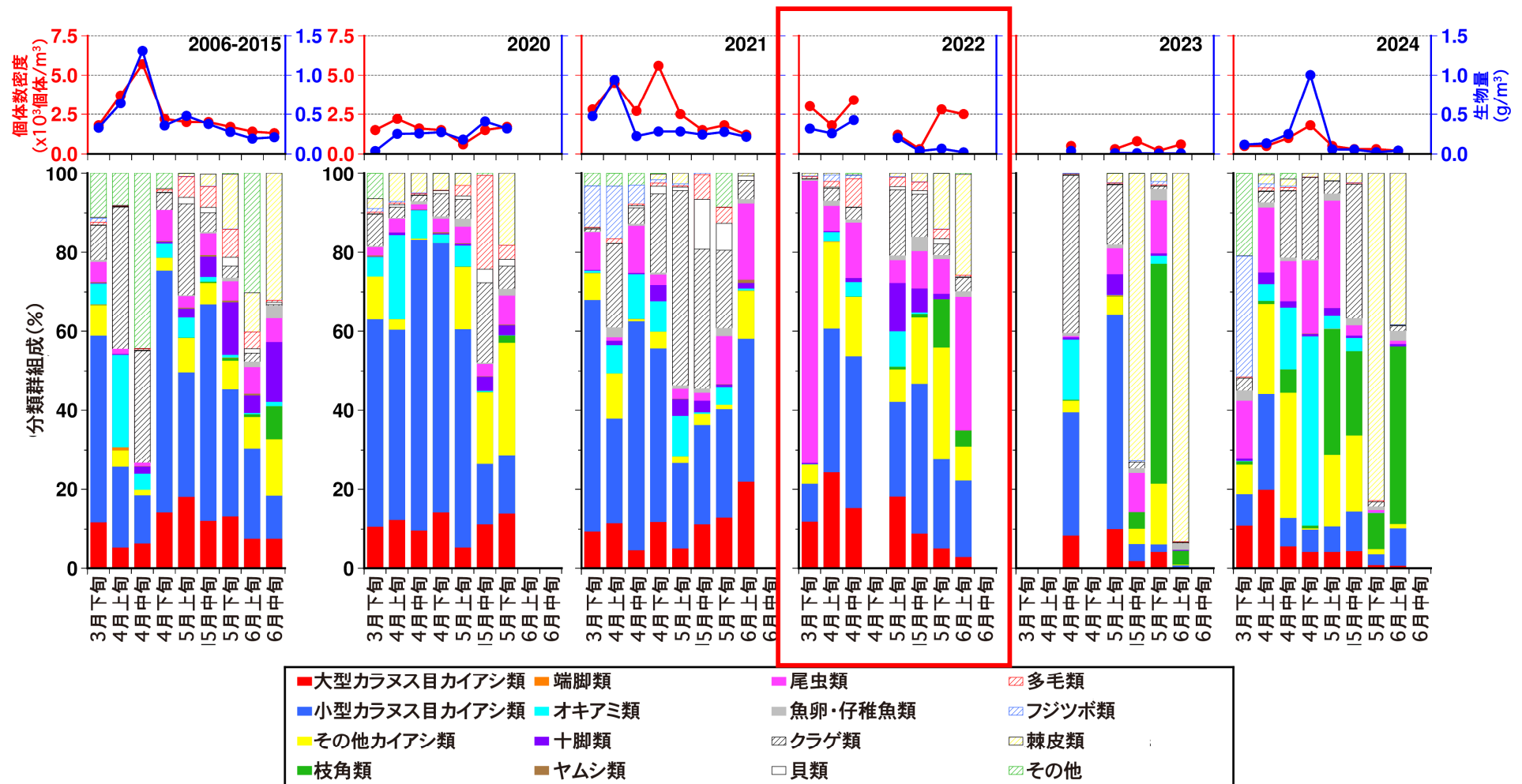
- 平年よりも8°C到達時期が早く、13°C到達時期が遅い
- 8～13°C期間は平年よりも9日長い



適水温の持続期間が長い

③北海道日本海区：餌生物環境

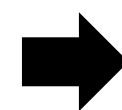
厚田沿岸における動物プランクトン個体数密度と分類群組成



(令和6年度さけ・ますふ化放流抜本対策事業報告書)

2022年は

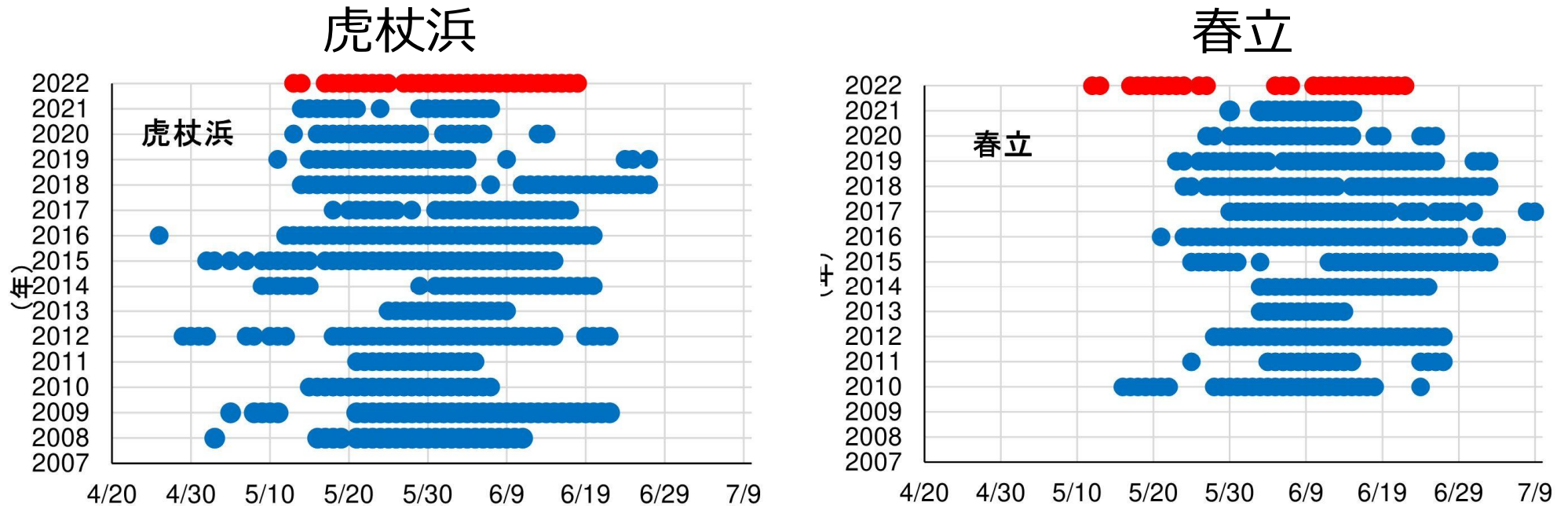
- ・ 個体数密度：例年と同程度で推移
- ・ 分類群組成：小型カイアシ類と尾虫類が優占



餌環境は良くも悪くもない

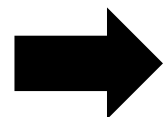
④えりも以西海区：沿岸水温

虎杖浜と春立における平均水温8～13℃期間の経年変化



(令和4年度さけ・ますふ化放流抜本対策事業報告書から抜粋)

2022年は近年と比較し、8℃到達時期が同じか早く、
13℃到達時期が遅い



適水温の持続期間が長め

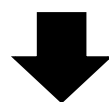
2022年春季の北海道各海区の沿岸海洋環境

海区	沿岸水温	餌生物
オホーツク海・根室	・ 適水温期間：短い	・ 動物プランクトン量少ない
えりも以東	・ 適水温期間：短い ・ 水温高めで推移	・ 枝角類が優占 ・ 個体数密度：低
日本海	・ 適水温期間：長い ・ 水温平年並み	・ 小型カイアシ類と尾虫類が多い ・ 個体数密度：高
えりも以西	・ 適水温期間：長め	・ 情報なし

資源が減少した海区のうち

- ・ オホーツク海、根室、えりも以東：沿岸環境の条件は悪い
- ・ 日本海：沿岸環境は普通

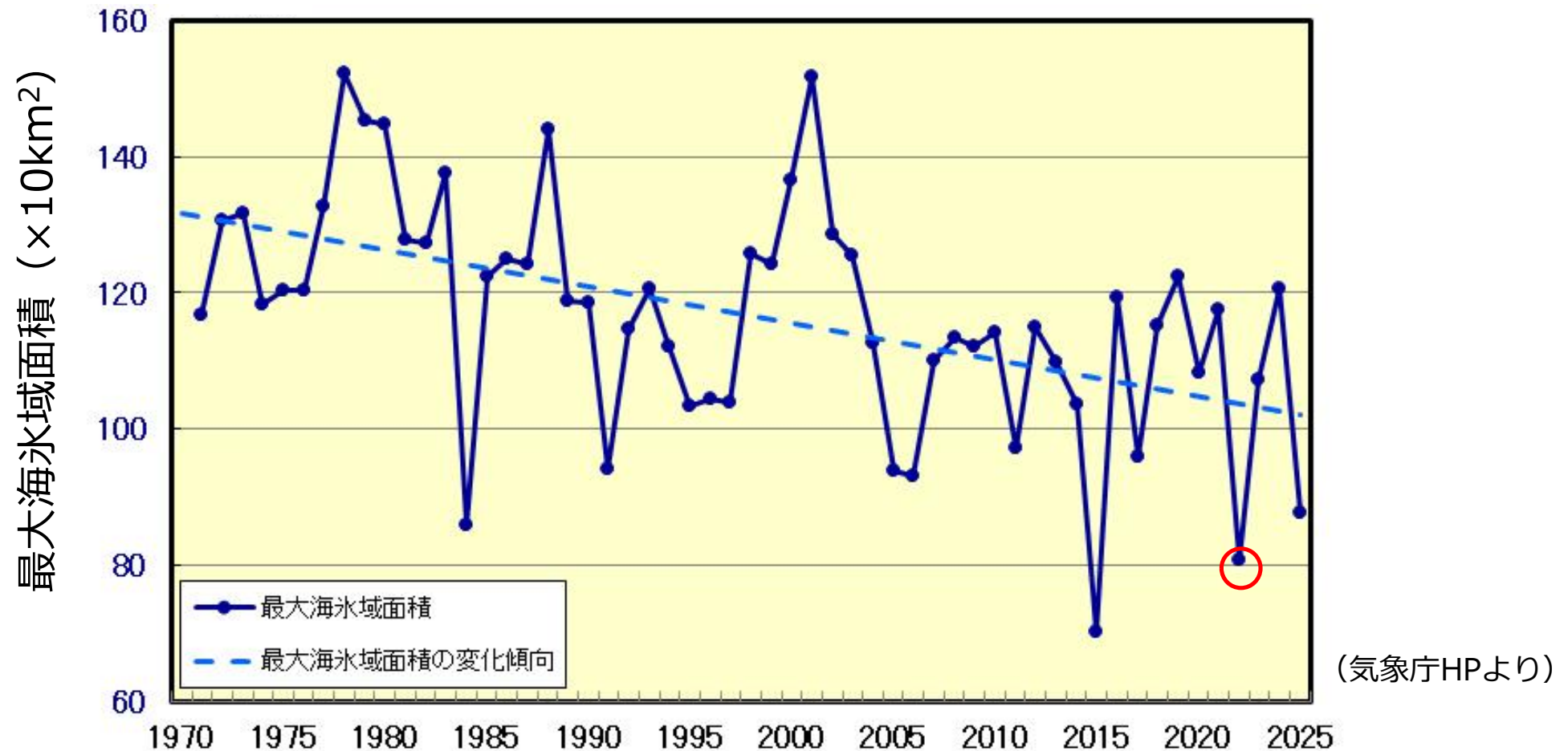
→ 沿岸の海洋環境だけでは説明しきれない部分がある



沖合域において何か特異現象が発生しているか？

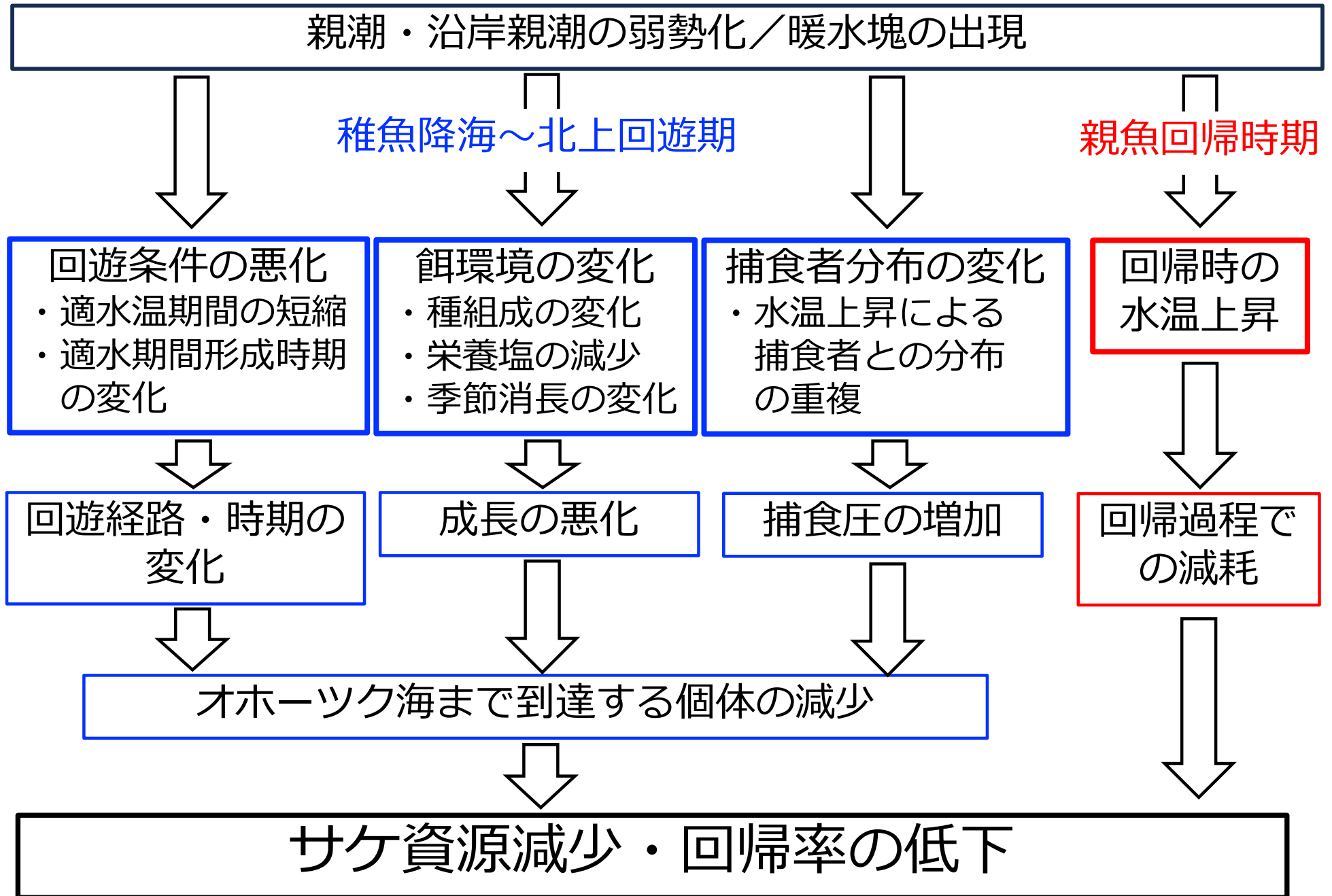
特異現象の例：流氷面積の減少

オホーツク海の最大海氷面積の経年変化



- 流氷はオホーツク海沿岸における基礎生産に重要
- 2022年冬（2021年－2022年）の流氷面積は過去2番目に小さい
→ 2022年春の動物プランクトンの発生に影響した可能性

サケ資源変動に影響すると思われる要因



(水産庁第1回不漁問題に関する検討会資料を改変)

まとめ

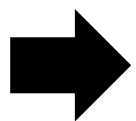
2025年漁期におけるサケ資源状況

- ・ 来遊数は1989年以降で過去最低、全地域で大きく減少
- ・ 海区別でもえりも以西を除き全て減少し、オホーツク海区と根室海区の落ち込みが大きい
- ・ 主群（2021年級）の来遊が少なく、2-4年魚の合計も1989年級以降で過去最低
- ・ 2021年級は、3年魚と比較し4年魚の来遊が少ない

2025年漁期における資源減少要因

- ・ 沿岸環境条件（適水温期間や餌生物環境）
 - ・ オホーツク・根室・えりも以東：悪い
 - ・ 日本海：普通
 - ・ えりも以西：悪くない
- ・ 沖合域での特異現象の発生
 - ・ 流氷面積の減少

} 沿岸海洋環境だけでは説明
しきれない部分も



サケ稚魚降海時の沿岸環境を押さえつつ、沖合域についても注視していく必要がある

さけます関係研究開発推進会議における議論

- ・ 近年はオホーツク海にたどり着いたサケ幼稚魚がそこでも減耗している可能性があるのではないか？
 - その可能性は考えられる。夏のオホーツク海での調査は難しいので、NPAFCや日ロ間の会議等で情報収集したい。
- ・ 今年は現時点においてロシアやアラスカにおけるサケやカラフトマスの漁獲量が少ない模様。他国の状況も含め、海洋環境や資源に関する情報について収集し、共有していただきたい。